

平成28年度
第5回千葉市農業委員会総会

議 事 録

千葉市農業委員会

平成29年1月30日、千葉市農業委員会会長 野崎好知は、平成28年度第5回千葉市農業委員会総会を千葉中央コミュニティセンター 8階 千鳥・海鷗に招集した。

<会議に付した議案等>

議事日程

日程第1 議事録署名人の選任について

日程第2 議案第1号 「農地等の利用の最適化推進施策等に関する意見書」について

日程第3 報告事項1 農業委員会委員と農地利用最適化推進委員の公募について

報告事項2 賃借料情報の提供について

報告事項3 全国農業委員会会長代表者集会について

その他

<出席委員> (29人) ※ 番号は議席番号

1番	長谷川 政 美	2番	猪 野 幹 夫
3番	大 塚 久	4番	鈴 木 武 夫 (農地部会長)
5番	小 林 正 明	6番	石 橋 幹 男
7番	笠 川 泰 雄	8番	植 草 隆 晴
9番	浅 川 政 明	11番	竹 下 洋 一
12番	宮 崎 一 雄	13番	野 崎 好 知 (会長)
14番	小 川 正 義	15番	中 村 公 江
17番	長谷川 功	19番	花 島 豊 勇
20番	安 井 誠 一	21番	高 澤 義 信
22番	蛭 田 浩 文	23番	橋 本 泉
24番	小 川 友 安	25番	齊 藤 元 治
26番	中 島 賢 治	27番	西 郡 高 夫
28番	長谷部 衡 平 (会長職務代理者)	29番	小 川 隆 良
30番	浅 尾 孝	33番	近 藤 千鶴子
34番	市 原 孝		

<欠席委員> (5人)

10番	武津岡 広 治	16番	田 中 和 夫
18番	伊 原 茂 久 (農業振興部会長)	31番	石 井 一 也
32番	小 川 政 二		

<事務局出席者>

事務局長	朝 生 智 明	次 長	岡 本 茂 之
次長補佐	堀 明 徳	管理班主査	平 山 和 利
農業振興班主査	小 川 剛	農地審査班主査	福 島 悟
主任主事	金 親 一 史		

(開会 午後2時)

議長

ただ今より、平成29年度第5回千葉市農業委員会総会を開会いたします。

お手元の会議日程に従いまして、進行させていただきます。本日の出席委員は、34人中29人で総会は成立しております。

はじめに日程第1「議事録署名人の選任について」ですが、議席順となっておりますので、私より指名いたします。

議席番号 25番 齊藤 元治 委員

議席番号 26番 中島 賢治 委員

のご両名にお願いいたします。

傍聴人はおりませんが、よろしくお願いします。

続きまして、日程第2 議案第1号「農地等の利用の最適化推進施策等に関する意見書（案）について」について上程いたします。

事務局、説明をお願いします。

朝生事務局
局長

事務局長の朝生でございます。

座って説明させていただきます。

議案第1号 農地等の利用の最適化推進施策等に関する意見書についてでございます。

これにつきましては、農業委員会等の法律が改正されまして、以前第6条に記載されておりました建議が廃止され、更に強化された形で第38条で農地等利用の最適化推進等に関係する施策を展開する関係行政機関に対して、農業委員会の意見を提出しなければならないと定められたものでございます。内容的には以前の建議のような形でござ

いますが、今回につきましては千葉市長に対しての、農地等利用の最適化推進等に関する施策についての意見を定めるものでございます。こちらにつきましては今日お諮りしまして、決をいただきしだい2月2日には提出したいと考えております。

それでは、農地等の利用の最適化推進等に関する意見書（案）について、こちらの2枚組をご覧くださいませでしょうか。表題部を1枚めくっていただきまして、こちらは市長に対して、こういったことで強く要望する次第として書かれております。

まず一番上の段落ですが、農業を取り巻く環境が色々な課題を抱えて非常に厳しい、従って農業経営も大変な状況にあるということ、2つ目の段落で食料生産産業として国の根幹をなす農業という産業は、国土の自然環境の保全であったり、良好な景観の形成とか災害防止とかの多面的な機能も有しています。

本市においても、耕作放棄地のさらなる増加が懸念され、極めて深刻な状況にあることから、農地の保全と利用の活性化が急務となっております。

こうした中、農業委員会等の法律が改正されまして、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の関係、新規参入の促進といった、農地等利用の最適化推進が農業委員会の一番重要な法定業務として位置付けられ、関係行政機関へ具体的な意見の提出が義務付けられましたということが書かれております。さらに昨年、都市農業振興基本法も施行されまして、首都圏における農産物の供給拠点として、都市農業の本市の特性を生かした独自の積極的な事業展開が必要ですよということをうたえまして、最後の2行で次葉に揚げる事項について、

積極的な取り組みと支援を強く要望する次第です。

裏面が具体的な要望事項でございます。

まず1つ目ですが、農地等利用最適化推進施策について、まず認定農業者等の確保と育成等に市の方で努めてくださいということ、認定農業者の育成や組織化などについては、先日の農業委員と農業者との対話会でも横のつながりがだいぶ出ておりましたので、そういった内容は盛り込んでおりますけれども、更に担い手となる認定農業者等を確保していく、そうした方々に法人化を奨励していくということ。また、農地の集積・集約化においての担い手の人たちが農地を確保していくことを意識しております。

2つ目として、耕作放棄地の発生防止と解消ということで、耕作放棄地を再生するための調査研究等を行政の方で行ってください。それから耕作放棄地を活用した体験農園等の普及に係る支援を強化してください。また耕作放棄地再生のための農業者支援の強化をしてくださいとしております。

3つ目は、新規参入の促進ということで、新規就農者間の情報を共有化するようなものを工夫して仕組みを作ってください。それから、新規就農者の状況に応じた技術・経営指導及び支援体制を構築してください。企業参入の促進のための諸策を展開して地域経済に元気を与えるようにしてくださいということ。

4つ目は、担い手の育成ということで、農業技術や経営研修等の充実により、農業者の所得が向上していくように工夫してください。また、担い手間の情報共有や交流を促進してくださいということ。また、農政センターは元々研究開発機能が置かれている部署ですから、それ

を活かして研究であったり民間との連携強化をしてくださいということです。

大きな2つ目としては、農業振興施策についてで、1つ目は農業委員会法の改正への対応で、農業委員の円滑な選任について、これは市町村の義務ですが、これを円滑に進めるうえで地域や農業者の意見を踏まえて、選んでくださいということ、女性や青年等の登用も法律からもいわれておりますから、これを選考にもとり入れてくださいということ。これも今回から法律に位置付けられた、農業委員会事務局体制を強化してくださいということです。

2つ目は、都市農業については、都市農業の推進について農商工連携と6次産業化の推進をしてください。また、地産地消・観光農園等の振興で地域の活性化を進めてください。そして市街化区域内農地の固定資産税の軽減化の実施をお願いしますということ、相続税猶予制度の緩和について国へ働きかけを行ってくださいということ。また、消費者ニーズに適応した農産物の生産、そして消費が拡大されていくことを促進していくことなどの農業経営の支援の強化をしてください。また、有害鳥獣対策の強化に向けた取り組みを引き続き実施していただくとともに、TPP関連情報についても農業者へ情報の提供をしてくださいというもの。以上の内容ですので農業に関係する諸課題は一通り網羅していると思っております。また、対話会をはじめ農業者の意見を踏まえた中で、他市の事例も参考にしながら、こういった形でまず市長にこれを申し入れますが、今年は意見書としてこういうかたちで行っていこうと考えておりますので、よろしくお願いします。

説明は以上でございます。

議長

お聞きのとおりでございます。

本件につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、お願いします。

中村委員、お願いします。

中村委員

今回は、農業委員会法の改正に伴って、この意見書を出すということなんですが、改正される前の法律の中では農民の地位向上に寄与すると書かれていたのですが、それに対して改正された後は、農地等の最適正化というのが強調されているのが中身となっているので、この中では農地だけではなく、千葉市の農政を変えていこうということになってはいるんですが、現状は農民の方々への台風の被害だとか鳥獣被害に対しての補償制度が無い中で、直接的な経済的な支援を国にも働きかけもするが、市独自で対応を図る必要があるという思いではあります。

まずはこういうものを出して、出した中身について市がこれを受けて対策を講じていく一定の効力があると伺っておりますので、それなりの対応を図っていただければと思っております。

議長

事務局、お願いします。

朝生事務局長

お話にあった内容は、この中で含んでおりまして大きな项目的にこのような内容も網羅している内容にはなっております。

実際には、これを受けた市役所、特に経済農政局が中心にはなりません。

すが、そちらの方でこれらの項目に取り組んでいくことを考えていかなければならないとされておりますので、色々な枝葉の部分も取り組んでいかなければならないことになります。

議 長

中村委員、お願いします。

中村委員

鳥獣被害とかは書かれているのですが、台風の被害を含めた色々な面での価格の補償については、この中では書かれていないかなと思いました。これから農業をやっていくのに、ペットボトルの水よりコメが安いという状況の中で、次を担う人を育成するという意味では、生活の最低限の保障がなければ、これから続けて行ったり後継者が育成しきれなかったりすると思いますので、それを意見として述べております。

議 長

他にございませんか。

小林委員、お願いします。

小林委員

市長へこのように提出するということですが、この後市の方から回答なり、どのような方向性にするのかなどのフィードバックは農業委員会にあるのか、市政だよりなどで報告されるのか教えてほしい。これからどのようなになるのかなどです。

議 長

事務局、お願いします。

朝生事務 局長	この意見書を提出したことに対しては、市の関係部署の主に農政部でこれらについて、どう考えていくか予算要求などもどのようにしていくかなどで回答が来るようになります。
議 長	他にございませんか。 橋本委員、お願いします。
橋本委員	農地等利用最適化推進施策等の中だと思いますが、国が盛んにやっております農地中間管理機構の表現がどこにも出てきていないが、そもそも農地の集積・集約化は農地中間管理機構になるかと思いますが、その他にも共同化などもあります。もし入れることが可能であれば④の農地の集積・集約化等による担い手の農地確保の利便性向上の前に、農地中間管理機構によるの表現を出来れば入れた方が、座談会等で農地中間管理機構のことは言われておりますので、入れることが可能であれば入れてほしいと思います。
議 長	事務局、お願いします。
朝生事務 局長	おっしゃっているとおりですが、大きな項目的にはこのような内容も網羅している内容にはなっておりますので、農地中間管理機構の他にも農地銀行の制度等もございます。今後それが整備されていかなければならない部分もありまして、全体を市も考えてやってくださいということで、農地中間管理機構のことは表現を少なくしておりご理解をいただければと思います。

議 長

他にございませんか。

意見・質問なし

ご意見、ご質問がないようですので、議案第１号についてお諮りいたします。議案第１号を可決することに、異議ございませんか。

議 場

異議なし

議 長

異議ございませんので、議案第１号は可決いたしました。

次に、日程第３ 報告事項１ 農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の公募についてでございます。

事務局、説明をお願いします。

岡本次長

報告事項１の資料をご覧ください。

農業委員会委員、農地利用最適化推進委員の公募についてですが、昨年１１月の第４回総会により、募集内容と要項につきましてご承認いただき、内容が確定いたしました。その後、公開の準備を進め公開もしております。

広報についてでございますが、皆さんご覧になられていると思いますが、市政だより１月１５日号で募集についての記事を掲載しており

ます。それから農業委員会だより１２月発行の第１２５号、それから１月発行の臨時号、それから１月１５日からホームページでも掲載されております。またこの資料の裏面にも、募集しますというものがありますが、実際はカラーのものを市の施設にポスター掲示、チラシ配布等を行なっております。

それから報道機関への説明、認定農業者・観光農園主への郵送、ＪＡ本支店、広報誌等への広報活動を展開しております。

説明会でございますが、６か所の開催を広報しておりまして、現在６か所のうち３か所が終了しております。１月２２日 中央コミュニティセンター、１月２６日 花見川区役所、１月２９日 鎌取コミュニティセンターで開催いたしまして、３か所で合計１４人の方にお越しいただきました。説明を熱心に聞かれておりまして、質疑応答などの熱心なやりとりもございました。例えば農業委員と推進委員の業務の違い、それから推進委員の区割りの考え方、応募書類の具体的な書き方等様々な質問がされました。

今後、説明会を３回予定しておりますので、こちらにつきましても、丁寧な説明を繰り返していきたいと思っております。

応募受付期間は、３月１５日（水）から４月１４日（金）に農業委員会事務局、農政課で応募の受け付けをし、今後の作業に入っていきます。公募については、以上でございます。

議長

それでは、本件について、ご意見ご質問等がございましたらお願いします。

小林委員、お願いします。

小林委員 私も説明会に参加させていただいたのですが、細かく説明がされておりました。しかし参加者の確認の中で、認定農業者かどうかしか聞かなくて、もう少し突っ込んで農業委員として聞きに来たのか、推進委員として聞いたのかなど、どういう気持ちで参加したのか聞いてもよかったのではないかと思います。

議 長 他にございませんか。
中村委員、お願いします。

中村委員 人数の問題だけではなく、来ている方がとても熱心に参加して説明を聞いていたと聞いております。都合が悪くて説明会に参加できない場合には、個別に問い合わせしても対応するのか、説明会の追加はなしとなるのか。参加した方を男女でお示しいただけますでしょうか。

議 長 事務局、お願いします。

岡本次長 この6か所以外で説明会はあるのかですが、要望がありましたらこちらから説明にうかがいます。

また、事務局の方にお気軽にお電話いただきましてもご説明はできます。関心のある方がいらっしゃいましたら、ご案内をよろしく願います。

それから、男女の人数ですが14人全員が男性でした。年齢層は60歳以上がほとんどに見えました。

議 長

他にございませんか。
中村委員、お願いします。

中村委員

より充実した委員の選出になるような、たくさんの応募があるように周知をお願いしたいと思います。

議 長

他にございませんか。
他に無いようですので、次に報告事項2 賃借料情報の提供についてでございます。
事務局、説明をお願いします。

岡本次長

報告事項2 賃借料情報の提供についてでございます。
本件は全国農業会議所から示されました、農地の賃借料情報を基に本市の賃借料を算出し、毎年情報提供しているものでございます。
具体的には、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間に農地法第3条の許可や農用地利用集積計画の報告が行われたデータなどにより、田・畑の別、10a当たりの賃借料水準をお示ししたもので金額は記載のとおりでございます。
農地を貸し借りしている方々の目安となるよう、情報提供するものであり、今後、農業委員会だより3月号やホームページなどにより周知を図っていきます。
なお、稲毛区の田、中央区の畑につきましては昨年の事例が無いため表示しておりません。また中央区、花見川区、若葉区の田及び稲毛

区の畑につきましては過少のため表示しておりません。

報告事項は以上です。

議長 それでは、本件について、ご意見ご質問等がございましたらお願いします。
中村委員、お願いします。

中村委員 事例過少というのは前回も同じですか、そこだけ確認したいと思います。

議長 事務局、お願いします。

岡本次長 昨年と一つ一つの区の照合はしていませんが、件数に満たなかったため件数として表示できなかったものがございました。

議長 他にございませんか。
石橋委員、お願いします。

石橋議員 報告事項2は、これでよろしいと思いますが、農業委員会だよりに各種作業で田植えとか田おこし等の参考金額がありましたら、載せた方がよろしいと思いますが。

議長 事務局、お願いします。

岡本次長 農業会議で農作業の資料は掲載されておりますので、現在どのような形で掲載するのかを含めて、ただ今検討中でございます。

議 長 他にございませんか。

他にないようですので、次に報告事項３ 全国農業委員会会長代表者集会についてでございます。

事務局、説明願います。

朝生事務局長 報告事項３ といたしまして、１２月１日に東京の芝のメルパルクホールで平成２８年度全国農業委員会会長代表者集会がございました。全国の農業委員会会長と事務局長が集まりました、ご報告をさせていただきます。

座って説明させていただきます。

資料の１枚目にございますような会議がございました。

そして、申し合わせの決議として２つの事案が決議されまして、その後、要請決議が行われまして、その後、各都道府県の選出代議士のところへ、各都道府県の会長・事務局長で分担して要請活動を行いました。私どもも、千葉県選出の２２名の議員の方々に、要請の文書などをお渡しいたしました。私と会長は千葉地区担当ということで、１区・２区・３区・比例選出の６名へお願いをまいりました。

決議した議案第１号は、「農地利用の最適化の推進」に関する申し合わせ決議ということで、農地を活かし、担い手を応援する全国運動を展開しようということの決議でございます。中段に新体制を円滑に進めようということで、先行事例の取り組みを共有化したり、新体制の

移行を円滑に進めようということ、それから若い農業者の登用を促進しましょうということ、次頁に移りまして移行後の取り組みや計画・指針について、検討・策定を行なおうというものでございます。

2つ目の「農地利用の最適化の推進」に全力で取り組もうということにつきましては、「人・農地プラン」作成等に参画し、地域内の合意形成に努めようということ、それから遊休農地の発生防止・解消を目指そう、また農地利用の集積・集約化、優良農地の確保に積極的に取り組もうということ、また新たな農業のパートナー作りに取り組もうということで、新規就農や企業参入についても取り上げております。

また農業者年金の普及・定着、加入推進に積極的に取り組もうということ。

大きな3つ目としては、地域の声を取りまとめた「意見の提出」に積極的に取り組もうということで、先ほどの意見の提出や新体制に移行後は、集落座談会等を開きながらやっていこうということ。

4つ目は、農業・農村の実態と農業委員会活動の積極的な強化に向けて情報提供活動を強化しようということで、全国農業新聞や農業委員会だより等で、できるだけ農業委員会の活動について住民のご理解をいただくことに取り組んでいくということ。

次頁、第2号議案は「情報提供」活動の一層の強化に関する申し合わせでございます。

まず1つ目は、全ての農業委員会で「全国農業新聞で農地利用の最適化達成を目指す3カ年運動」に取り組んでいこうということ、2つ目は農地利用の最適化のため「全国農業図書」の必携・常備を進めると共に研修会等での活用並びに農業者への啓発に取り組もうということ

と、3つ目は農業委員会だよりの発行、市町村広報誌やインターネット活用を通じた農業委員会活動の「見える化」を徹底しようということとで議決されております。

6頁が、要請決議で農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請ということで、7頁から要請の内容になりますが、まず1つ目として、農政の基本である農地制度の実効性の確保ということで、農地中間管理機構による農地利用集積の円滑な実施だったり、「農地情報公開システム」の本格稼働に向けた支援、遊休農地対策の強化等色々と考えております。

8頁に大きな2として、経営所得安定対策等経営対策の強化をしていくということで、所得安定対策を充実させたり、新規就農に必要な支援を更に充実してくださいということ、それから次の10頁の担い手、経営対策の強化、また11頁の農業年金者制度・運用改善、女性農業者の経営参画への支援、外国人実習制度の改善、農業者の立場に立つ農業者・農協改革が挙げられております。

大きな3つ目は、活力ある地域振興に向けた対策の強化ということで、(1)から次頁にわたって、鳥獣被害対策であったり、6次産業化の推進であったり、都市農業の振興であったりが触れられております。

そして13頁の方で、大きな4つ目は、食の充実と安全・安心対策の推進、国産農産物の輸出促進ということで、地産地消であったり、食育であったり、食の安全であったり、農産物の輸出促進や知的財産権の保護、東日本大震災・原発事故、熊本地震等への万全な対応などについて要請をしております。最後、15頁ですが、農業委員会組織の体制と機能の強化ということで、農地利用の最適化に向けた取り組

み支援の強化とともに、厳正な農地制度の執行を確保するような体制を整備していくように働きかけを行っていくことがうたわれております。こちらの要請決議を受けまして、冒頭でお話ししました千葉県内全部の代議士の方に要請活動を行ってきました。要請のポイントとしては、農地制度の執行の確保、経営対策の充実、食の充実と安全、農業委員会の組織の体制と機能の強化の部分特に、強調して要望活動を行なってきました。

説明は以上でございます。

議長

それでは、本件について、ご意見ご質問等がございましたらお願いします。

中村委員、お願いします。

中村委員

確認したいのですが、14頁の5のTPP国内対策の継続・強化ということで、アメリカはトランプ大統領のもとでTPPはやらないと言っていて、日本の農業施策としては、TPPすることによる打撃があるという状況を踏まえて、この長期的な視点に立った施策制度の運用などについては、TPPを進めていくということなのか、そうではないということなのか、文章からは読み取れないので教えてほしい。

議長

事務局、お願いします。

朝生事務局
局長

この時は、現在の話は無かったわけで全国農業会議の方で全国共通の問題としてまとめたものでして、TPPについて反対と、昨年の国

内の状況は、真っ向から反対する意思表示は無いと思われます。いずれにしてもＴＰＰに対しては十分な国内対策をしてくださいという要望を出して、それをさらに農家の方々に十分情報提供してくださいということです。

議長

他にございませんか。

他に無いようですので、次に日程 その他についてでございます。
事務局、説明願います。

岡本次長

その他について、連絡事項が４点ございます。

まず１点目ですが、農業者年金の加入促進でございます。現状の状況についてですが、加入促進月間中の１０月から１１月にかけて花見川区において個別訪問を行なうなど、２０歳代から３０歳代の若い農業者に重点を置き加入促進に努めました。また、農業委員会だよりやホームページでの周知を図っておりまして、昨年１２月発行の農業委員会だよりには加入促進に係る記事を掲載し、併せて、パンフレットを同封し周知・啓発に努めました。

本年度実績といたしましては、これまでに２名の加入者を得ることができました。

引き続き、加入推進に努めてまいります。新規加入者の掘り起こしには、地区担当の農業委員さんのお力添えが是非必要であるため、加入推進班の農業委員以外の農業委員の方におかれましても、日々の農業委員の活動として、農業者への働きかけをお願いいたします。加入希望やお問い合わせ等ありましたら、事務局までご連絡くださるよ

う、加入推進について、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、一般社団法人千葉県農業会議において、さらなる加入推進の一環として、農業者年金のPRラジオ放送が1月から期間的に実施しております。

放送スケジュールについては別添1のとおりでございます。

ベイエフエムにて20秒・40秒のコマーシャルを合計23回を放送予定しており、また、ニッポン放送の「高田文夫のラジオビバリー昼ズ」内の「ハロー千葉」のコーナーにて、生放送を2回予定しております。

明日の昼0時54分頃の放送を予定されておりますので、是非ご聴取いただき、事務局までご意見・ご感想等お寄せいただきたく、お願いいたします。

また、この放送の録音データが手に入りましたら、次回の総会でご案内したいと思います。農業者年金については以上でございます。

その他の2点目ですが、資料はございませんが次の総会のご案内です。来月28日、火曜日に臨時の総会を開催したいと存じます。時間は午前11時からを予定しております。会場は千鳥・海鷗を予定しております。ちなみに当日は午前10時から農業委員会だよりの編集会議、午後1時から農地部会が開催予定されております。その総会の内容ですが、新体制における進め方等を中心に予定しております。この開催につきましては、あらためてご案内いたします。

その他の3点目ですが、資料A4横書き、平成29年度総会・農地部会・振興部会予定表でございます。7月までは通常の開催方法、7月20日については、部会は無くなりますが総会を月1回のペースで

実施しますので、日程が決まっているものについてご案内をさしあげております。現時点の状況として参考にしてください。

その他の４点目ですが、農業委員会の活動記録簿ですが日頃の活動状況を記入いただきまして、事務局にお越しの際にお持ちいただければと思います。こちらの報告が出来ませんと将来的には補助金にも影響してまいりますのでよろしくお願いいたします。

その他につきましては、以上４点でございます。

議 長

ご意見、ご質問等あればお願いします。

意見・質問なし

ご意見、ご質問が無いようですので、事務局からの説明のとおりとします。

本日の議事日程は以上でございます。

皆様のご協力により、すべての日程の審議を終了することができました。

心より感謝申し上げます。

これをもちまして、平成２８年度第５回総会を閉会いたします。

（閉会 午後２時５５分）